

模様ワークを用いた授業

【前時 浴衣着装実習】

【授業までの宿題】

お宮参り、七五三、卒業式など着物を着たことがあるか保護者に話を聞いてくる。可能であれば、その時の写真を見たりもってきてたりする。

【本時の目標】

・着物に込められた思いを知り、日本の伝統文化について理解を深める。

【本時の流れ】

	授業の流れ	教師の支援
導入 (10分)	<p>和服について確認する。</p> <p>家で話したことや持ってきた写真を見せ合いながら、なぜ着物を着るのか考える。</p> <p>着物にはそれぞれ異なる柄があり、多くの種類の柄があることを確認する。</p>	<p>・パワーポイントを用いて、浴衣や着物など、様々な種類があることを再確認できるようにする。</p> <p>ワークシート (WS) 配布</p> <p>・普段は洋服を着ているのに、七五三などの時になぜ着物を着るのだろうかと問いかけることで、現代と着物との結びつきを考えさせる (WS1)。</p> <p>・通過儀礼、また成長を祝う時に用いたものであったことを説明する (WS2)。</p> <p>・柄に着目させ、展開での模様ワークや柄に込められた思いを知る活動へとつなげる。</p>
展開 (35分)	<p>グループで模様ワークを行い、模様探しをしながら、名前と意味を知る。(e-learning教材^{※2}を用いる) (12分)</p> <p>・自分の班の着物に込められた想いを考える。 (3分)</p> <p>・主な模様を紹介・解説する (5分)</p>	<p>各班で用いる模様の教材^{※1}を LMS (ジャムボードか Teams 等) で共有しておく。</p> <p>・机間指導により、教材をうまく使用できているか確認するとともに、グループで協力して活動できるよう声掛けをする。</p> <p>※2 「着物に描かれた模様の名前と意味を知ろう！」</p> <p>http://kimono-bunka.ynu.ac.jp/KimonoWork-addenglish/index.html</p> <p>・それぞれの模様の意味を調べたうえで、着物全体にどのような意味が込められているか話し合い、WS 3 に記入するよう伝える (WS3)。</p>

	<p>・自分が着物を作るならどんな柄を用いたか、考える。 (e-learning 教材※2 を用いる) (10分)</p> <p>グループで自分の考えた着物について発表する。 (5分)</p>	<p>・よく使われる模様など数個に絞り、柄の説明をする</p> <p>・メインとなる柄を1つ、その他に入れたい柄を3つまで選ぶようにし、なぜその柄を入れたいのか、どのような願いを込めるのかを考えさせる (WS4)。</p> <p>・また、だれのために作るのかは、自由に決めさせる。 (例) 自分のため、自分の子供のため、兄弟姉妹のため、親のため</p> <p>・時間があれば、数人に発表してもらい、全体に共有する。</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>振り返りを書く。</p> <p>HW：班でワークに用いた模様の名前と意味の解説編を見て答え合わせと復習をする(e-learning 教材※3 を用いる)。</p>	<p>※3 祝い着に描かれた模様の場所と意味 (解説編) http://ynu-satsumoto-labo.ynu.ac.jp/kimono-pattern-quiz/answer-pattern-quiz/index.html</p> <p>・自分が調べた着物のほか、他の班の着物の柄に込められた思いも含めて e-learning 教材※3 を用いて家で調べて復習するように提示する。</p>